

平成25年度 関東東海北陸・近畿中国四国農業試験研究推進会議 合同茶業部会現地研究会開催要領

部会長 野菜茶業研究所 茶業研究監 木幡 勝則

1. 趣旨

茶の生産は、一番茶から秋冬番茶で、年間数回の生産をしている。市場価格は下落しており、リーフ茶の低下で農家収益は非常に厳しいものになっている。このため、高齢化した農家では栽培意欲が低下しつつあり、周辺の優良茶園でも放任園が多くなってきている。こうした中、産地としての知名度の向上、リーフ茶の販売量増加を図るため、新たな茶の製品開発への取り組みが各地で行われてきている。製菓材料としての新たな取引先を得るなど一定の成果は見られているが、本来の目的であるリーフ茶の全体的な販売量の増加にはつながっていないのが現状である。

そこで、本研究会では、茶産地の活性化につながる新たな商品開発に関して、独自の製品開発に取り組んでいる事例を紹介するとともに、その現状と問題点を検討して、広く情報を共有することで今後の試験研究の推進に資する。

2. 開催日時

平成25年10月30日（水）13：00 ～ 31日（木）13：00

3. 開催場所

(1) 研究会（1日目）

ルポール讃岐 大ホール

（高松市中野町23-23 TEL：087-831-3330）

※JR高徳線栗林公園駅北口から徒歩1分

(2) 現地視察（2日目）

香川県三豊市高瀬町

農事組合法人高瀬茶業組合及び現地茶園

製茶施設視察（荒木直樹氏説明 住所：香川県三豊市高瀬町佐股甲2476番地）

茶園視察（農業試験場満濃試験地 岩井正直）

4. 検討事項

テーマ「茶産地の活性化につながる新たな商品開発について」

(1) 10月30日（水）13：00～17：00

検討会 ①挨拶・情勢報告 部会長、農林水産省、等

②講演

・演題 「長崎県におけるびわ茶・椿茶の事例について」（仮題）
（40分）

講師 長崎県農林技術開発センター農産園芸研究部門
茶業研究室 宮田 裕次 氏

・演題 「香川県におけるたかせのべに茶の事例について」（仮題）
（40分）

講師 香川県農業試験場作物・特作部門
満濃試験地 岩井 正直 氏

③各府県の現状、問題点および総合討論

(2) 10月31日（木）9：00～13：00

現地視察 香川県三豊市高瀬町

農事組合法人高瀬茶業組合製茶施設及び茶園

5. 参集範囲

農林水産省生産局、農林水産省技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、近畿農政局、中国四国農政局、関東東海北陸・近畿中国四国各府県茶業関係行政・試験研究機関、野菜茶業研究所、中央農業総合研究センター、近畿中国四国農業研究センター、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

野菜茶業研究所 企画管理部 業務推進室 茶業チーム 池杉美知男
TEL : 0547-45-4105 E-mail : kikaku-cha@ml.affrc.go.jp

7. その他

参加申し込み、資料提出、その他の詳細については、別途ご連絡します。

平成25年度 関東東海北陸・近畿中国四国農業試験研究推進会議

合同茶業部会 現地研究会 開催日程

部会長 野菜茶業研究所 茶業研究監 木幡 勝則

テーマ「茶産地の活性化につながる新たな商品開発について」

【10月30日（水）研究会】

- 13:00～13:05 開会・挨拶
部会長、香川県農業試験場場長
- 13:05～13:15 情勢報告等
農林水産省 生産局、農政局
- 13:15～14:35 講演
・演題「長崎県におけるびわ茶・椿茶の事例について」（仮題）
（40分）
講師 長崎県農林技術開発センター農産園芸研究部門
茶業研究室 宮田 裕次 氏
・演題「香川県たかせのべに茶の事例について」（仮題）
（40分）
講師 香川県農業試験場作物・特作部門
満濃試験地 岩井 正直 氏
- 14:35～14:50 休憩
- 14:50～16:10 各府県の現状、問題点報告
- 16:10～16:40 総合討論
- 16:40～17:00 検討事項 部会事務局
- 17:00 閉会

【10月31日（木）現地視察】

- 9:00 「ルポール讃岐」 集合
- 10:00～11:20 農事組合法人高瀬茶業組合視察
製茶施設及び茶園
- 13:00 JR琴平駅 解散